

1. 平成 31 年度シンポジウム・セミナー・情報交換会 講演内容

公益社団法人スポーツ健康産業団体連合会

第 23 回シンポジウム (SPORTEC2019 セミナー) 「メガスポーツイベントを契機とした地域活性化」

開催日：令和元年 5 月 23 日 (木)

場 所：東京ビッグサイト 会議棟

2021 年に開催されるワールドマスターズゲームズ 2021 関西などビッグスポーツイベントを機に地域にもたらされる効果や、人々を運動に駆り立てる地域における取り組みなど、幅広いテーマを取り上げ、多くの参加者が熱心に耳を傾けていた。

講演

テーマ：メガスポーツイベントを契機とした地域活性化

講 師：東 直也 氏 ワールドマスターズゲームズ 2021 関西組織委員会 競技運営部長

安達 知希 氏 株式会社電通 関西支社ソリューション・デザイン局 コンテンツビジネス 2 部長

増井 国光 氏 スポーツ庁 参事官 (地域振興担当)

内 容：

2021 年に関西で開催されるワールドマスターズゲームズ。アジア初開催として、5 万人以上(海外から 2 万人、国内 3 万人) の参加を目指し、取り組みが進められている。同大会の関西組織委員会の東 直也氏は、海外向けの PR 映像を紹介し、「これまでの動向では、国内選手は大体 10 日間程度、国外選手は 2 週間程度、開催地に滞在するとされています。これを活かして、スポーツをするためだけでなく、日本の良さを知ってもらえる大会にできれば」と意気込みを語った。さらに同氏は「日本では“マスターズ”というと“シニア”をイメージするが、海外では“アクティブエイジ”“元気な大人が年齢を重ねながら楽しむもの”というイメージが強い」と述べた。より多くの人に気軽に参加してもらうためにも、日本ではイメージ変更が必要になりそうだ。

続いて登壇した安達知希氏は、同大会をマーケティングの面からサポートする株式会社電通の取り組みを紹介。

<以下、講演資料の掲載>

講演資料1 メガスポーツイベントを契機とした地域活性化

ワールドマスターズゲームズ 2021 関西の取り組み状況とレガシーについて

講師：東 直也 氏 ワールドマスターズゲームズ 2021 関西組織委員会 競技運営部長

メガスポーツイベントを契機とした地域活性化
ワールドマスターズゲームズ2021関西の取り組み状況とレガシーについて



公益財団法人ワールドマスターズゲームズ2021関西組織委員会
競技部長 東 直也

ワールドマスターズゲームズとは

国際マスターズゲームズ協会 (IMGA) が主宰
概ね30才以上であれば誰でも参加でき、4年ごとに開催される
世界最大級の生涯スポーツの国際総合競技大会

参加基準は年齢のみ | 国籍なし、国籍種別も登録可能 | 元プロ・元アマ選手 問わず出場可能

誰もがメダリスト候補者！！

初戦から海外参加者との対戦が可能であることもワールドマスターズゲームズの特長、競技種目は年代別で実施され、各年代別にメダルが授与されます。

国際マスターズゲームズ協会 (IMGA) とは
年齢、性別、人種、宗教、そして競技レベルにかかわらず、スポーツ愛好家同士の友情や相互理解を奨励している世界的なマスターズスポーツの代表団体で、スイスのローザンヌに本拠を置きます。
国際的な総合スポーツ大会を組織すること、スポーツを生涯続けることにより個人の身体能力の向上が可能であることの啓蒙（世界中の成人に対し定期的にスポーツの実施を促し、マスターズゲームズに参加するよう呼びかけ）を行っています。
本協会の目的は、「スポーツ フォー オール」～Sport for All～のオリンピック憲章における哲学の普及を行い、オリンピック・ムーブメントを支持することです。

大会の特徴と楽しみ方

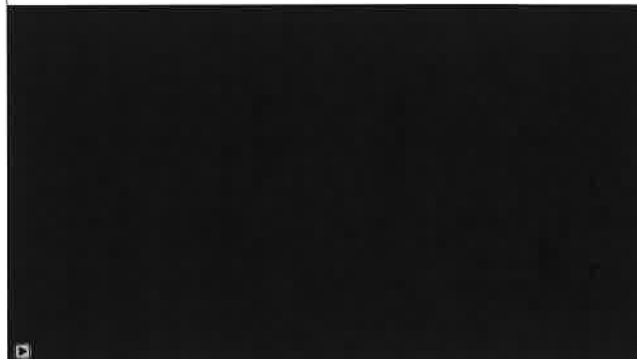
「みる」
家族や仲間も応援に来る、世代を超え一緒に楽しむスポーツ大会

「ささえる」
ボランティアとしても参加可能、開催地住民も巻き込んだ大会運営

「楽しむ」
大会参加者同士、ボランティア、地域住民とたくさん人の新たな出会いと交流を生む大会

「集る」
大会参加者（国外）の滞在平均15日間、スポーツツーリズムを実現した大会

World Masters Games 2021 KANSAI Information 1



大会参加選手の状況

過去WMG開催期間中の国内選手滞在平均日数 **9.4日**

過去WMG開催期間中の国外選手滞在平均日数 **15.8日**

男女分布
女性 44% | 男性 56%

年齢分布
61歳以上 16% | 40歳以下 19%
51～60歳 32% | 41～50歳 33%

世帯収入分布
\$50,000以下 12% | \$150,000以上 33%
\$50,000～\$100,000 30% | \$100,000～\$150,000 19%

出典：IMGA/WMGガイドラインより

これまでの大会について

第1回(1985) トロント (カナダ) 61ヶ国・8,305人	第2回(1989) ヘルシンキ (フィンランド) 76ヶ国・5,437人	第3回(1994) ヘルシンキ (フィンランド) 71ヶ国・23,659人	第4回(1998) ボトランド (南アフリカ) 101ヶ国・11,000人	第5回(2002) メルボルン (オーストラリア) 97ヶ国・24,886人
第6回(2005) エドモントン (カナダ) 89ヶ国・21,600人	第7回(2009) シドニー (オーストラリア) 135ヶ国・28,676人	第8回(2013) トリノ (イタリア) 107ヶ国・19,000人	第9回(2017) オークランド (ニュージーランド) 166ヶ国・28,578人	第10回(2021) 関西エリア (日本) 約50,000人(目標)

Point 1 アジア地域 初開催 | Point 2 参加者約5万人目標 過去最大規模の大会 | Point 3 初めての 広域開催

過去大会の国別参加者数

■2009年シドニー大会の国別参加者数			■2013年トリノ大会の国別参加者数			■2017年オークランド大会の国別参加者数		
国名	参加者数	種目数	国名	参加者数	種目数	国名	参加者数	種目数
オーストラリア	18,728	210	イタリヤ	2,741	213	ニュージーランド	11,779	792
カナダ	2,777	49	オーストラリア	2,713	37	オーストラリア	7,240	180
ニュージーランド	1,404	42	カナダ	2,587	10	カナダ	2,093	71
アメリカ	854	45	ロシア	1,543	8	アメリカ	1,506	66
ロシア	617	34	ロシア	1,028	8	日本	792	61
イギリス	602	26	アメリカ	852	5	ロシア	487	51
ブラジル	363	21	フランス	728	4	韓国	431	47
ドイツ	298	16	フィンランド	598	3	スウェーデン	435	45
日本	219	14	ドイツ	438	3	フィンランド	328	33
フィンランド	184	12	ロシア	430	3	ドイツ	274	19
韓国	181	11	ノルウェー	430	3	アメリカ	26,579	5
フランス	148	6	スリランカ	3		タイ	4	
アメリカ	137	5				パキスタン	3	
フィリピン	3	3				韓国	2	



【出典】シドニーWMOGファイナルレポート/トリノWMOGファイナルレポート/オークランドWMOGファイナルレポート
Copyright (C) The Organizing Committee of the World Masters Games 2021 Kansai. All rights reserved.

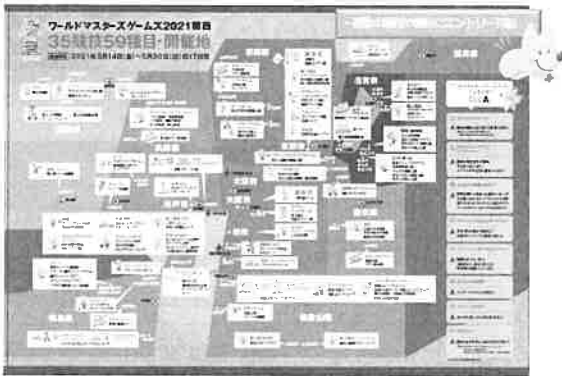
ワールドマスターズゲームズ2021関西概要

- 開催期間** 2021年5月14日(金)～30日(日) (17日間)
開会式…5月14日(金) 京都市 岡崎エリア一帯(平安神宮、岡崎公園等)
閉会式…5月30日(日) 大阪市 大阪城ホール
- 開催競技** 公式競技 35競技 59種目 (他 オープン競技実施)
- 開催場所** 福井県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、鳥取県、徳島県、京都市、大阪市、堺市、神戸市
- 開催目標** 参加者5万人 (国内3万人、国外2万人：150か国・地域以上)
- 主催** 公益財団法人ワールドマスターズゲームズ2021関西組織委員会
- 共催** 公益財団法人日本スポーツ協会
- 後援** スポーツ庁、公益財団法人日本障がい者スポーツ協会



Copyright (C) The Organizing Committee of the World Masters Games 2021 Kansai. All rights reserved.

開催競技種目と競技開催地・会場地



Copyright (C) The Organizing Committee of the World Masters Games 2021 Kansai. All rights reserved.

大会の推進体制



定款制定メンバー (平成31年4月1日現在)

- 名誉顧問: 文部科学大臣、スポーツ庁長官ほか
- 顧問: 府県政令市関係即合議員、スポーツ議員連盟役員ほか
- 参加: 中央競技団体の代表
- 相談役: 森 謙介 (財団法人「WMOG」2021関西組織委員会委員長)
- 会長: 井原 敏三 (城西信用連合会長)
- 社長: 王青 (関西経済連合会会長)
- 副社長: 関根 洋司 (市長)
- 常任役員: 関係府県スポーツ協会会長、商工会連合会会長ほか
- 委員: 関係企業、団体等の代表者
- 事務総長: 木下 博夫
- スペシャルアドバイザー: アスリートネットワーク理事
- 広報大使: 坂井 壮 (タレント、元陸上十種競技の日本チャンピオン)

Copyright (C) The Organizing Committee of the World Masters Games 2021 Kansai. All rights reserved.

経済波及効果について

- ▶ 大会開催にかかわる経済波及効果は、1,461億円
- ▶ 大会レガシー効果は、1兆868億円

(特定非営利法人社会工学研究所 算出による)

	開催府県単位	その他府県	全国
大会開催効果	913	548	1,461
大会レガシー効果	3,770	7,098	10,868
合計	4,683	7,646	12,329

(単位: 億円)

【注釈】大会レガシー効果とは・・・
大会後の記念大会の継続や、レガシーを見据えて実施される取組み等がもたらす開催地等の知名度向上による、訪日観光客増加・観光消費拡大等の効果を推計したものを指します。
▶ 大会レガシー効果測定期間は、2021年6月～2029年12月
(招致決定から大会終了までと同程度の期間を大会終了後も継続するとして設定)

Copyright (C) The Organizing Committee of the World Masters Games 2021 Kansai. All rights reserved.

ワールドマスターズゲームズを契機に



「みる」スポーツへの意識を「する」スポーツへ
生涯スポーツを基とした関西・日本の活性化・地域創生

Copyright (C) The Organizing Committee of the World Masters Games 2021 Kansai. All rights reserved.

オリンピックムーブメントの継承

IMGA (国際マスターズゲームズ協会) と、IOC (国際オリンピック委員会) は、万人のためのスポーツ及び活力にあふれた社会を促進させる精神の下で結束し、「オリンピックアジェンダ2020」(※)の趣意にある「他スポーツイベントの主権者と緊密に協力すること」を下記内容のとおり覚書に刷印しました。



IMGA ウィルム・ホルム会長 (左) と IOC トーマス・バハ会長 (右)

※オリンピックアジェンダ2020
2014年11月にモントリオールで開催された第127回IOC総会において採択された20+20の覚書です。これら40の覚書は、オリンピック・ムーブメントの未来を明確に定義し、目標を設定し、責任を押しつけています。

- 夏オリンピックの翌年に同一開催国にてワールドマスターズゲームズの開催を検討
- マスターズスポーツへの協力強化と、世界中の成熟した競技者へ定期的なスポーツ実施を推奨



Copyright © The Organizing Committee of the World Masters Games 2019 Korea. All rights reserved.

Masters' Games an incredible opportunity for Olympic Games legacy



Copyright © The Organizing Committee of the World Masters Games 2019 Korea. All rights reserved.

ワールドマスターズゲームズ2021関西推進議員連盟

国会議員有志による議員連盟「ワールドマスターズゲームズ2021関西推進議員連盟」(会長・二階健博 聖徳院議員) が発足し、政府がワールドマスターズゲームズを支援する旨の閣議了解を要請することなどについて応じていただけることとなりました。



活動内容について

- 日時 平成31年3月19日(火) 午後5時30分～
- 場所 衆議院第一議員会館 地下1階 大会議室
- 出席者
 - ・国会議員
 - ・大会組織委員会会長、開催府県政令市知事・市長 ほか(約200名)

Copyright © The Organizing Committee of the World Masters Games 2021 Korea. All rights reserved.

ボランティアについて

大会運営を支えていただくためにはボランティアの力が必要不可欠であり、加えてボランティアの生き生きとした活動は大会や開催地域の印象をポジティブにし、大会の一体感や盛り上げにも繋がります。



〜ワールドマスターズゲームズボランティアの活動風景〜

- 募集予定人数 **のべ6万人**
- 募集開始 **2019年11月**から
- 活動場所 **13府県政令市**
- 業務内容 **競技補助、式典補助、受付補助、通訳 など**

ボランティア基本方針

- 活動を通じて、多様な人材の志願を促進し、スポーツ活動を支えるボランティア文化の醸成を図ること
- 競技参加が盛んな30歳以上である本会は、世界各国から参加する本規模は国際大会でもあり、ここで世代間交流はもとより、国際交流・異文化交流を行うことは学生連帯青年世代にとっても貴重な機会であることから、開催地府県大学と連携する等して、十分なボランティア活動の機会を提供すること
- 開催地域住民の意識を高め、地域文化に貢献すること(レガシー)とすることから、各実施主体(組織委員会・府県政令市実行委員会)がそれぞれ役割を担う設備・運営・管理を行うこと

みなさんからのたくさんのご応募お待ちしております。
詳細はホームページ(2019年11月13日更新) 発行後を待ちください。

Copyright © The Organizing Committee of the World Masters Games 2021 Korea. All rights reserved.

WMG2021アンバサダー・アナバサダー

大会アンバサダー

- | | | |
|--------------------------|------------------------|---|
| 清水 史 (元シニアオリンピック級日本代表) | 森田 真直 (射撃評論家) | 大会応援大使 |
| 船越 喜尚 (元シニアオリンピック級メダリスト) | 斎藤 和也 (射撃解説者) | 多種目出場と多種目でのメダル獲得を目指して、金メダルにしたいです！
めざせ全種目制覇！！ |
| 有森 知子 (元マラソン選手) | 込田 さおり (元女子バレーボール日本代表) | |
| 池田 恭子 (スイミングアドバイザー) | 鈴木 悠広 (マラソンランナー) | |
| 大西 裕太郎 (元男子バレーボール代表) | 千原 真子 (マラソンランナー) | |
| 大山 悠介 (元女子バレーボール代表) | 寺川 隼 (スポーツキャスター) | |
| 長塚 次廣 (スポーツキャスター) | 野村 悠亮 (元男子バレーボール代表) | |
| 栗野 安子 (スポーツキャスター) | 廣田 遼 (元女子バレーボール代表) | |
| 栗原 朝雄 (射撃評論家) | 室伏 暁彦 (元男子バレーボール代表) | |
| 小塚 夕美子 (元バドミントン日本代表) | 八平昌 純子 (スポーツキャスター) | |
| 狩野 舞子 (元女子バレーボール日本代表) | 松本 浩一 (元バレーボール日本代表) | |
| 亀山 つとむ (射撃評論家) | | |

大会アンバサダー



実行 亜

大会アナバサダー

- | | |
|-------|---------|
| 山中 真 | 毎日放送 |
| 飯田 博 | 朝日放送テレビ |
| 樋口 謙志 | テレビ中京 |
| 堀田 真 | 関西テレビ |
| 三浦 雅志 | 読売テレビ |



Copyright © The Organizing Committee of the World Masters Games 2021 Korea. All rights reserved.

3大国際スポーツ大会の連携



2017年11月20日 3大国際スポーツ大会連携協定
(左) 世界選手権 (ワールドカップ)
(中) 世界オリンピック (ワールドオリンピック)
(右) 世界マスターズゲームズ (ワールドマスターズゲームズ)

日本では2019年からラグビーワールドカップ、東京オリンピック・パラリンピック競技大会、本大会と、3年連続して大規模な国際スポーツ大会が開催されます。

この連携開催を契機に、スポーツ人口の拡大や、スポーツ産業の発展など様々な面において相乗効果が期待されます。

「3大会の連携開催」の実現を目標に3大会の組織委員会による連携の協定を2017年11月20日に締結しました。

連携の意義

次世代育成第二期「スポーツ基本計画」(平成29年度から平成33年度までの5年計画)において「スポーツで、人生が変わる」、「社会が変わる」、「世界が変わる」、「未来が変わる」の4つの重点目標として掲げ、「する」、「みる」、「伝える」のスポーツを通じた活動があり、社会の発展など「一億総活躍社会」の実現に貢献することをしています。

連携における

- (1) 大会における広報・PR関係について
- (2) 大会におけるボランティアについて
- (3) その他、大会の準備・運営における必要な事項について



Copyright © The Organizing Committee of the World Masters Games 2021 Korea. All rights reserved.

関係団体との連携・協力体制の構築

■（協賛）宝川スポーツ財団・（協賛）日本スポーツボランティアネットワークとの協定

▷日 時 平成30年8月18日（土）
▷場 所 関西国際空港（みんなのスポーツ1000 音（宣言）開始式内で実施）
▷出席者 瀧邊 一利 宝川スポーツ財団・日本スポーツボランティアネットワーク 理事長
木下 博夫 ワールドマスターズゲームズ2021関西組織委員会 事務総長

▷連携事項

- ①スポーツボランティアの育成
- ②スポーツボランティアに対する理解促進
- ③スポーツボランティアに関する情報提供
- ④その他、大会の準備・運営における必要な事項



■（協賛）国際協力機構 関西センター（JICA関西）との協定

▷日 時 平成30年8月24日（金）
▷場 所 ヒルトン大阪（大会1000日前決起大会内で実施）
▷出席者 西野 莉子 国際協力機構関西センター 所長
木下 博夫 ワールドマスターズゲームズ2021関西組織委員会 事務総長

▷連携事項

- ①広報・PR関係
- ②大会におけるボランティア
- ③関西におけるSDGsと国際協力の推進
- ④その他、双方の事業及び大会の準備・運営に必要な事項



大学との連携・協力体制の構築

■金沢大学との協定

▷日 時 平成29年11月14日（火） 16:00～16:45
▷場 所 京都外国語大学
▷出席者 匂坂克久 東京外国語大学理事・事務局長、沼井邦尚 神田外国語大学学長、
亀山剛夫 名古屋外国語大学学長、松田武 京都外国語大学学長、指昭博 神戸市外国語大学学長、
小島浩伸 長崎外国語大学学長
木下博夫 ワールドマスターズゲームズ2021関西組織委員会 事務総長

▷協定事項

- ①「ワールドマスターズゲームズ2021関西の運営に必要な人的分野に関して」
- ②「ワールドマスターズゲームズ2021関西に関する教育、研究及び国際交流分野に関して」
- ③「ワールドマスターズゲームズ2021関西に関わるPR・普及活動の分野に関して」
- ④「その他、両機関が必要と認める分野に関して」



■金沢大学体育研究会との協定

▷日 時 平成30年3月21日（水・祝） 13:00～13:10
▷場 所 南山学院大学（東京都渋谷区）
▷出席者 安西祐一郎 全国大学体育連合 会長（慶応義塾大学前会長・名誉教授）
木下博夫 ワールドマスターズゲームズ2021関西組織委員会 事務総長

▷協定事項

- ①「ワールドマスターズゲームズ2021関西の運営に必要な人的分野に関して」
- ②「ワールドマスターズゲームズ2021関西に関する教育、研究及び国際交流分野に関して」
- ③「ワールドマスターズゲームズ2021関西に関わるPR・普及活動の分野に関して」
- ④「その他、両機関が必要と認める分野に関して」



大会協賛社

メジャーパートナー

DaiwaHouse Group HASEKO Mizuno

OPTAGE 住友電工 walcia

パートナー

asics

サポーター

DAIKIN linky Iwatani JR西日本 KEIHAN INTRUST KOBELO
Kikkou 1155 住友不動産 NANAI 三井住友 大塚カス トヨタ

メディアパートナー

JONES ABC 日本テレビ 8/テレビ
NIKKEI 株式会社 株式会社
EMBOZ FM COCOLO 93.5 FM OHI

Copyright © The Organizing Committee of the World Masters Games 2021 Kansai. All rights reserved.

令和元年5月23日

メガスポーツイベントを契機とした地域活性化

～Sport for Life～



WORLD MASTERS GAMES 2021 KANSAI JAPAN



大会マスコット スワラ

公益財団法人関西ワールドマスターズゲームズ2021組織委員会
副委員長 栗 道也 sakumichi@wmg2021.jp

講演資料2 WMG 2021を契機とした、“する”スポーツのムーブメントづくり。

講師：安達 知希 氏 株式会社電通 関西支社ソリューション・デザイン局
コンテンツビジネス2部長



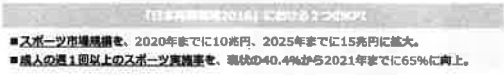
**WMG2021を契機とした、
“する”スポーツのムーブメントづくり。**

株式会社 電通 関西支社
ソリューション・デザイン局
コンテンツビジネス2部長
安達 知希

TOKYO2020で最高潮となる“みる”スポーツへの関心。

その熱気は、
自らがプレイヤーとなる原動力となり、
“する”スポーツへの機運を加速させます。


**「日本再興戦略2016」に基づくスポーツ市場の拡大方針
に基づき、“する”スポーツを国が後押し。**



■スポーツ市場規模を、2020年までに10兆円、2025年までに15兆円に拡大。
■個人の週1回以上のスポーツ実施率を、現状の40.4%から2021年までに65%に向上。



一方で、オリパラの開催が、
スポーツ実施率向上につながるとは限らない。



大会の成功と「一億総スポーツ社会」の実現に向けて、
RWC2019も含めた3大会連携・協力に関する協定を締結。



あらゆる人々がスポーツを通じて
健康な生活を送る環境づくりを推進する
スローガン “Team Do Sports” を策定。



#teamdosports 活動の実施イメージ

**A. マスターズスポーツの世界最高峰の競技大会
としての訴求**

対象者：エリートスポーツ経験者+α

実施フェーズアイデア 01

全国選手権でハーフタイムショー

マスターズスポーツの全国大会などを抽出し、ハーフタイムなどを活用したPRを実施する。
アンバサダーの出演を組み入れた#wmg2021 PRショーを行う。

例えば、アンバサダーである前園真聖さんのオリジナルチームを
サッカー0-40の各地域大会に招聘
SNS: #teamdosports #Team真聖 0ver40 #prshow #wmg2021

実施フェーズアイデア 02

競技大会でエキシビジョンマッチ

特定競技の全国大会などで、その競技に関連する
OBOG選手が出場するエキシビジョンマッチを実施し、#wmg2021 をPR。

例えば、北海道ゆかりの杉村大蔵さんが
北海道テニス協会の代表としてエキシビジョンマッチに出演
SNS: #teamdosports #杉村大蔵 #1st北海道テニス協会 #prshow #wmg2021



実施フェーズアイデア 03

マスタースポーツ大会でPRキャラバン

マスタースポーツ大会にWMGアンバサダーを派遣し、#wmg2021 PRキャラバンを行う。



例えば、マスタースポーツ大会でのスフラ派遣の全国キャラバン

SNS: #wmg2021 #全国キャラバン #TeamDoSports #マスタースポーツ #スフラ



実施フェーズアイデア 04

WMGドリームチームの派遣

WMGアンバサダーや元スターアスリートによるドリームチームを結成し、競技大会に派遣。
#wmg2021 を目指すドリームチームを紹介し、大会参加の機運を醸成する。



例えば、武井社さん率いるWMGドリームチームが
様々な大会に出場し好記録を連続。WMGの話題も喚起。

SNS: #TeamDoSports #WMGドリームチーム #武井社 #Roadto #wmg2021

B.レクリエーションスポーツを楽しむ仲間が集うイベントとしての訴求

対象者: レクリエーションファン層+α



実施フェーズアイデア 05

Team Do Sports オリジナルフラッグの提供

企業や地域、部活OBOGなどのスポーツ活動に対して
#teamdosports のオリジナルフラッグを提供し、大会内で使用いただく。
参加者への#wmg2021 認知獲得はもちろん、報告写真をポータルに掲載し、TDS活動の広がりを顕在化する。



例えば、地域の工務店の運動会にフラッグを提供してSNS拡散

SNS: #TeamDoSports #さとう手芸店運動会 #Roadto #wmg2021 #いこむぎ



実施フェーズアイデア 06

大会出場選手サポートキットや優勝景品などを支援

#wmg2021 メジャーパートナーが、自社の関連商品/サービスなどを活用し
参加賞の提供などの支援を行う。
大会自体の盛り上げ、大会参加者へのスポンサー企業および#wmg2021 のPRにつながる。



例えば、スポンサーのウェルシア薬局が社内運動会などにサポートグッズを送るキャンペーンを実施


SNS: #wmg2021 #ウェルシア #運動会サポート #Roadto #TeamDoSports

Team Do Sports ポータルについて

講演資料3 スポーツが持つ力と地域活性化

講師：増井 国光 氏 スポーツ庁 参事官（地域振興担当）

SPORTEC 2019セミナー



スポーツ庁
JAPAN SPORTS AGENCY


スポーツが持つ力と地域活性化

2019年5月23日
スポーツ庁参事官（地域振興担当） 増井 国光

第2期スポーツ基本計画

スポーツ基本計画 第2期：2017年4月～2022年3月

**2020年東京大会の先を含む
5年間の日本のスポーツの重要な指針**



関係者が一体となって「スポーツ立国」実現を目指す

スポーツで「世界」につながる！

国際メカスポーツイベントの連続開催

今秋、国際メカスポーツイベントが連続して国内で開催

2019年

世界柔道選手権大会（8月 東京都）

ラグビーワールドカップ2019（10-11月 埼玉・千葉・横浜など12会場）

女子ハンドボール世界選手権大会（12月 熊本県内）

バレーボールワールドカップ2019

2020年

東京オリンピック・パラリンピック競技大会（7-9月 東京都ほか）

2021年

ワールドマスターズゲームズ2021関西（5月 関西広域圏）

世界水泳選手権大会（7-8月予定 福岡県福岡市）

2026年

第20回アジア競技大会（2026年 9-10月予定 愛知県・名古屋市共催）

スポーツで「社会」を豊かに！

スポーツを通じた地域の活性化

数値目標

スポーツ目的の訪日外国人数 **138万人** ▶ **250万人**

スポーツツーリズム関連消費額 **2,204億円** ▶ **3,800億円**

具体的な施策

- スポーツツーリズムの推進
- 地域スポーツコミュニティの拡大
- スポーツ×文化×観光の取組奨励
- スポーツによる地域の一体感の醸成
- スポーツ関連組織の収益モデルの調査と普及

スポーツで「社会」を豊かに！

地域活性化におけるスポーツのチカラ

スポーツは感動を与えるだけでなく、地域へ社会的効果、経済効果を生み出す。

【地域への社会的効果】

- ・ブランディング・シティプロモーション効果
- ・地域スポーツ人口・関心層の拡大
- ・受入地と派遣国・地域との交流のきっかけ
- ・ローカルアイデンティティ・地域一体感の醸成
- ・認知層・訪客ターゲットの拡大
- ・観光入込の平準化、従事者の雇用安定

【地域への経済効果】

- ・選手団や参加者・観戦者の滞在に係る消費（宿泊・飲食・観光・物販など）
- ・大会・イベント等の参加料収入
- ・付帯イベント実施の場合の事業・物販収入

スポーツによる持続的なまちづくり、地域活性化へ

スポーツで「社会」を豊かに！

地域スポーツコミッション推進組織の要件
（スポーツ庁方針）

スポーツによるまちづくり・地域活性化の推進のためには、
地域における推進役「地域スポーツコミッション」の拡大が必要。

2017年11月現在

56団体

（スポーツ庁指定）

2021年度実施目標まで

170団体

（2018年10月段階で
申請した団体が対象）

地域スポーツコミッション

※ 地域自治体、民間企業、NPO等が中心となり、地域活性化の推進を図る。

「要件1」 登録の組織であり、年間を通じて活動を行っている。（時限の組織を除く）

「要件2」 スポーツツーリズムの推進、イベントの開催、大会や合宿・キャンプの誘致など、スポーツと地域資源を掛け合わせたまちづくり・地域活性化を主要な活動の一つとしている。

「要件3」 地方自治体、スポーツ団体、民間企業（観光産業、スポーツ産業）等が「一体」となり組織を形成、または協働して活動を行っている。

「要件4」 特定の大会・イベントの開催及びその付帯事業に特化せず、スポーツによる地域活性化に向けた幅広い活動を行っている。

【地域スポーツコミッションイメージ】



